

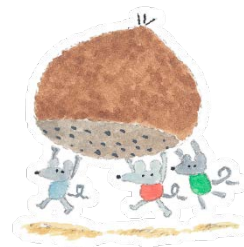


自著紹介

第3回

『地域で共に生きる

—知的障害のある人と一緒に考えよう—』



西村愛、岩淵由夏子、押切和香、久慈明子、
工藤友紀、中畑友絵、前田絵未
イラスト: 佐藤優衣、田島彩、田仲瑞穂、中嶋友香
青森県立保健大学社会福祉学科西村愛ゼミ
2011年2月
369.28||N84
図書館2階開架に配架しています

今年4月から障害者差別解消法が施行されました。法律では、障害のある人が障害のない人と同等の機会が得られるよう、合理的配慮をはかるべきとされています。合理的配慮とは、障害のある人の個々の状況に応じた、必要な配慮や支援を意味します。

本書は、5年前に卒業したゼミ生6人と一緒に書いた本です。副タイトルに「知的障害のある人と一緒に考えよう」とあるように、知的障害のある人たちが、地域で生きるためには、何が必要なのかゼミで議論しながら、実際に、6名の知的障害の人たちにインタビューをして、学生たちが考えたことをまとめました。私たちが想像している以上に、彼らは、様々な思いをもって生活をしていることを知りました。知的障害のある人の支援を想定して書いたものですが、障害種別問わず、必要な配慮や支援のヒントが見つかる本です。「共に生きる」をイメージして、学生が描いてくれた、表紙と中表紙の可愛いイラストも必見です。